

令和5年度進行管理・評価シート
栃木市歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）
（最終変更 令和6年5月7日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 歴史的風致維持向上計画の実施体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画法との連携	2
2 景観計画との連携	3
3 屋外広告物について	4
4 栃木市歴史的町並み景観形成要綱について	5
5 重要伝統的建造物群保存地区との連携	6
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 歴史的風致形成建造物修理・修景事業	7
2 嘉右衛門町伝建地区拠点施設整備事業	8
3 伝統的建造物公開活用事業	9
4 嘉右衛門町伝建地区修理等事業	10
5 伝統的技術継承事業	11
6 嘉右衛門町伝建地区防災施設等整備事業	12
7 村檜神社修理整備事業	13
8 景観重要建造物保全事業	14
9 歴史的町並みに関する修景補助事業	15
10 景観形成重点地区指定に関する調査事業	16
11 無電柱化事業	17
12 祭礼・民俗芸能等の記録保存事業	18
13 市指定無形民俗文化財保存事業	19
14 山車等の保存・修理補助事業	20
15 渡良瀬遊水地環境保全事業	21
16 農業体験(農業ワーキングホリデー)事業	22
17 6次産業化推進事業	23
18 情報発信事業	24
19 文化財データベース整備・発信事業	25
20 文化財マップ作成事業	26
21 案内板等整備事業	27
22 歴史・文化に関する解説ボランティア人材育成事業	28
23 嘉右衛門町伝建地区及び周辺整備事業	29
24 ポケットパーク整備事業	30
25 駐車場整備事業	31
26 旧日光例幣使街道交通体系検討調査事業	32
27 歴史文化資産ネットワーク形成事業	33
28 公共サイン整備事業	34
29 歴史的観光資源高質化支援事業	35
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の調査、指定、保存管理について	36
2 文化財の修理、周辺環境整備、防災に関する事業について	37
3 文化財に関する普及・啓発、防災訓練、団体支援について	38
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 栃木市の歴史的風致に関する報道	39
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 観光客入込数の推移	40

口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	41
-------------------------	----

評価軸①-1

組織体制

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
歴史的風致維持向上計画の実施体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	蔵の街課と都市計画課、文化課を事務局とした庁内推進組織を設置するとともに、「栃木市歴史的風致維持向上協議会」において、計画の推進や変更等の連絡・調整・協議等を行い、事業の推進を図る。 また、必要に応じて、都市計画や景観、文化財保護等に関する審議会、文化財や歴史的建造物の所有者等との連絡調整を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木市歴史的風致維持向上協議会を令和5年5月と令和6年3月に開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○計画の推進体制

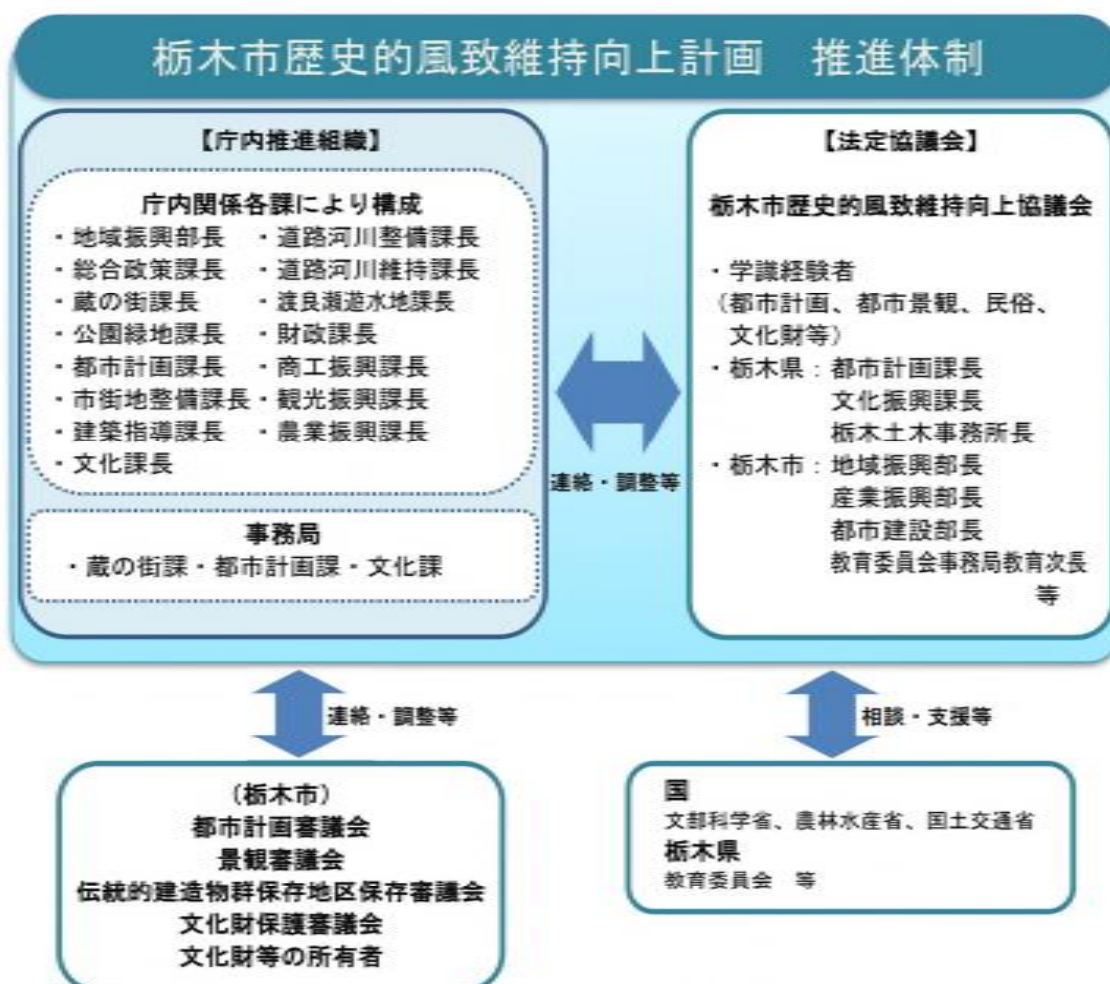


図 歴史的風致維持向上計画の推進体制

○協議会等の開催状況

①栃木市歴史的風致維持向上協議会

令和4年度進捗評価管理シートに関する意見照会

令和5年5月

令和5年度進捗評価管理シート並びに中間評価シート等に関する意見照会

令和6年3月

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
都市計画法との連携			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	栃木市は、市域全体が都市計画区域となっており、重点区域の2区域は、「旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域」が市街化区域、「村檜神社区域」が市街化調整区域である。 区域区分及び用途地域の適切な土地利用の規制誘導により周辺環境との調和に努め、特に価値が高いと判断された建造物群で、保存措置が必要な場合は伝統的建造物群保存地区制度の活用を検討する。 また、地区の特性に応じた、計画的できめの細かいルールを定める制度を活用して、周辺に見られる歴史的風致との調和に努め、良好な市街地環境の形成を図る。 歴史的な町並みが残る栃木地域の中心市街地において、都市計画道路の検証・見直しを図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的な町並みが残る栃木地域の中心市街地における建造物群の今後の保存・活用の方法について、伝統的建造物群保存地区制度の活用や同制度活用に伴う課題(都市計画道路の見直し等)の有無等、庁内関係課との検討を行った。 また、3か所の地区計画に、各地区の特性に応じた制限を定め、将来にわたって周辺環境と調和した快適で魅力ある歴史的景観の形成を図った。 蔵の街大通り倭町一丁目東側商家群地区計画 令和5年度:届出件数 0件(令和4年度:届出件数 1件) 栃木駅前地区計画 令和5年度:届出件数 0件(令和4年度:届出件数 1件) 栃木駅前第2地区計画 令和5年度:届出件数 0件(令和4年度:届出件数 2件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	課題を整理し、関係各課と実現に向けて検討をしていく。		
状況を示す写真や資料等			
都市計画道路の整備状況		地区計画と重点区域	

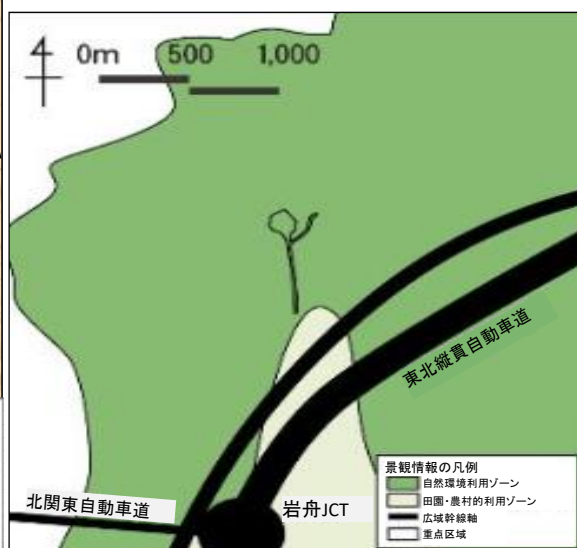
評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
景観計画との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	栃木市では、平成27年に景観法に基づく栃木市景観計画を策定するとともに、あわせて栃木市景観条例を制定し、総合的な景観形成を進めている。市内各所に広がる歴史的風致について、事業展開に合わせて景観計画と連携する。また、歴史的風致維持向上計画の重点区域である「旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域」の一部のエリアと「村檜神社区域」については、景観計画において景観形成重点地区の候補地として設定しているため、重点地区指定について検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
良好な景観を守るため、栃木市景観計画に基づき、届出のあった建築行為等の計画に対し適宜指導等を行い、規制内容に適合するよう誘導した。 令和5年度:届出件数 50件 うち、重点区域 2件(令和4年度:届出件数 55件 うち、重点区域1件) 本市の歴史的風致は、市内各所に点在していることから、景観計画の景観構造別の景観形成方針による誘導をさらに推進するため、庁内関係課と課題や取組等を共有した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		景観形成重点地区の指定に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により地元自治会との協議が止まっていたことから、再開に向けて検討を行う。	
状況を示す写真や資料等			



景観構造図(旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域)

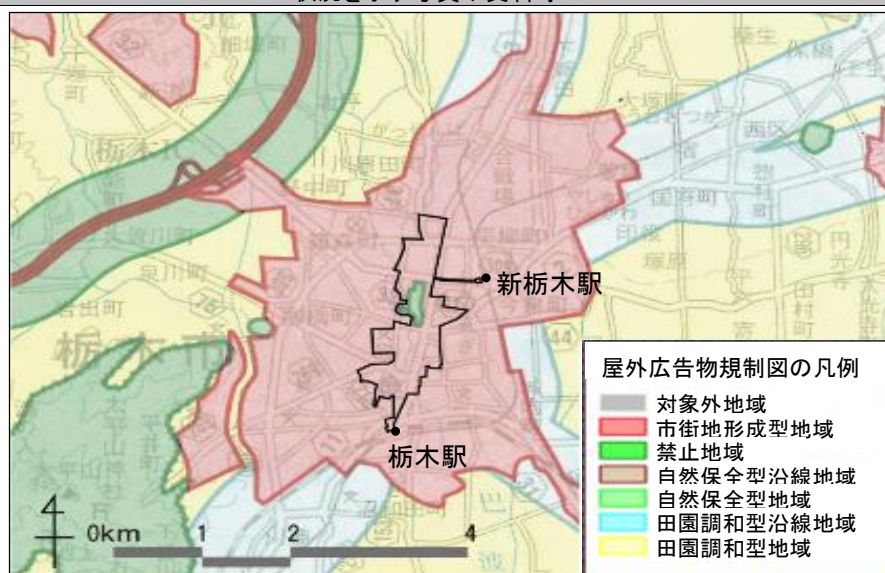


景観構造図(村檜神社区域)

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
屋外広告物について		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	栃木市における屋外広告物は、栃木県屋外広告物条例により規制されている。 重点区域は禁止地域と許可地域が混在し規制内容が異なっているため、良好な環境が阻害されることが懸念される。 今後は、市独自の屋外広告物の設置規制や適正な維持管理を行う市屋外広告物条例の制定を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「栃木県屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物に対し規制誘導及び設置許可を行った。 令和5年度:許可件数(市全域) 202件(令和4年度:許可件数(市全域) 256件) 屋外広告物の規制誘導により、良好な景観形成が図られ、歴史的風致の維持向上に効果があった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		今後は、市独自の屋外広告物の設置規制や適正な維持管理を行う市屋外広告物条例の制定に向けて、県内で独自条例を制定している宇都宮市・那須塩原市・日光市・那須町の条例を調査研究する。	
状況を示す写真や資料等			



屋外広告物規制図(旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域)



屋外広告物規制図(旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域)

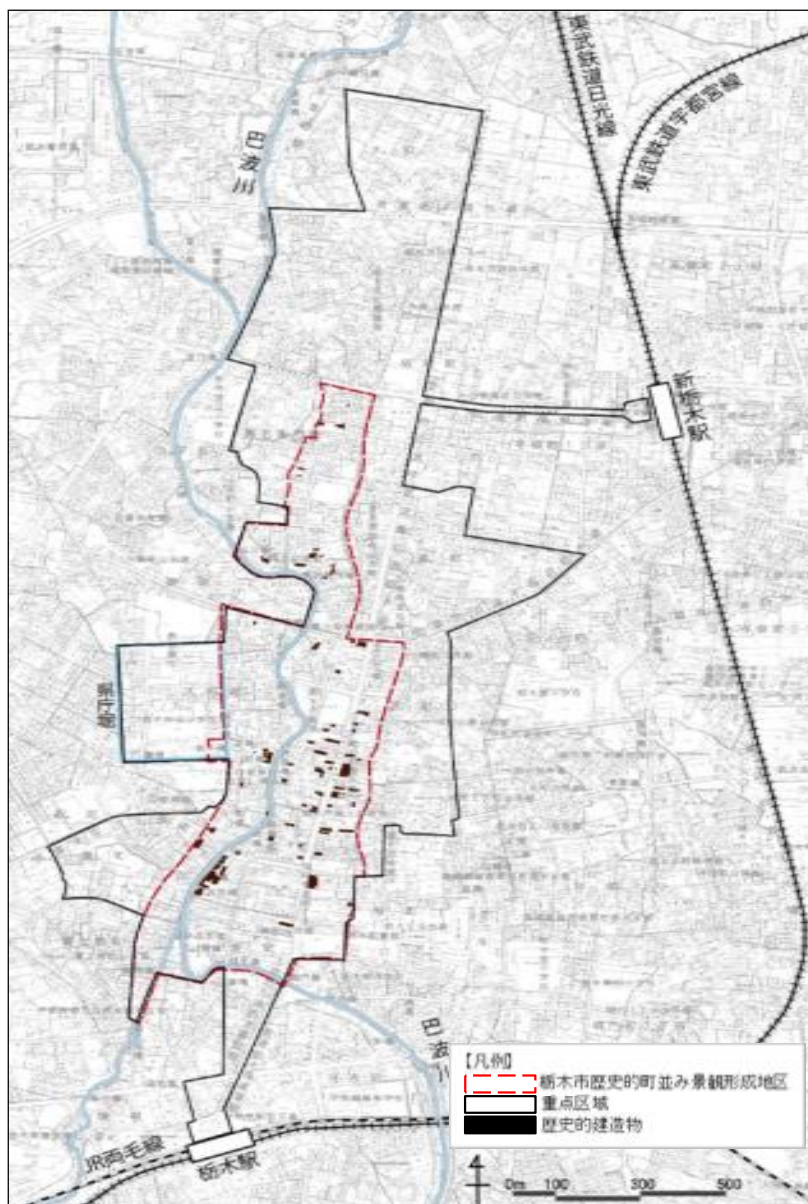
評価軸②-4

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
栃木市歴史的町並み景観形成要綱について		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	栃木市では、平成2年に栃木市歴史的町並み景観形成要綱を制定し、同要綱に基づき歴史的建造物の外観やそれらに付随する工作物の修景整備を進めている。 今後は、景観形成補助金制度の拡充について検討するとともに、町並みの連続性を阻害している建物の外観について、歴史的町並みに調和した形態、意匠となるよう整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木市歴史的町並み景観形成地区内において建築行為等を行う場合、「栃木市歴史的町並み景観形成要綱(最終改正：H28.3.31)」及び「栃木市町並み修景ガイドライン」により、届出を受け、良好な歴史的町並みを形成するため、基準に沿うよう指導した。 令和5年度：届出件数 9件(令和4年度：届出件数 17件)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

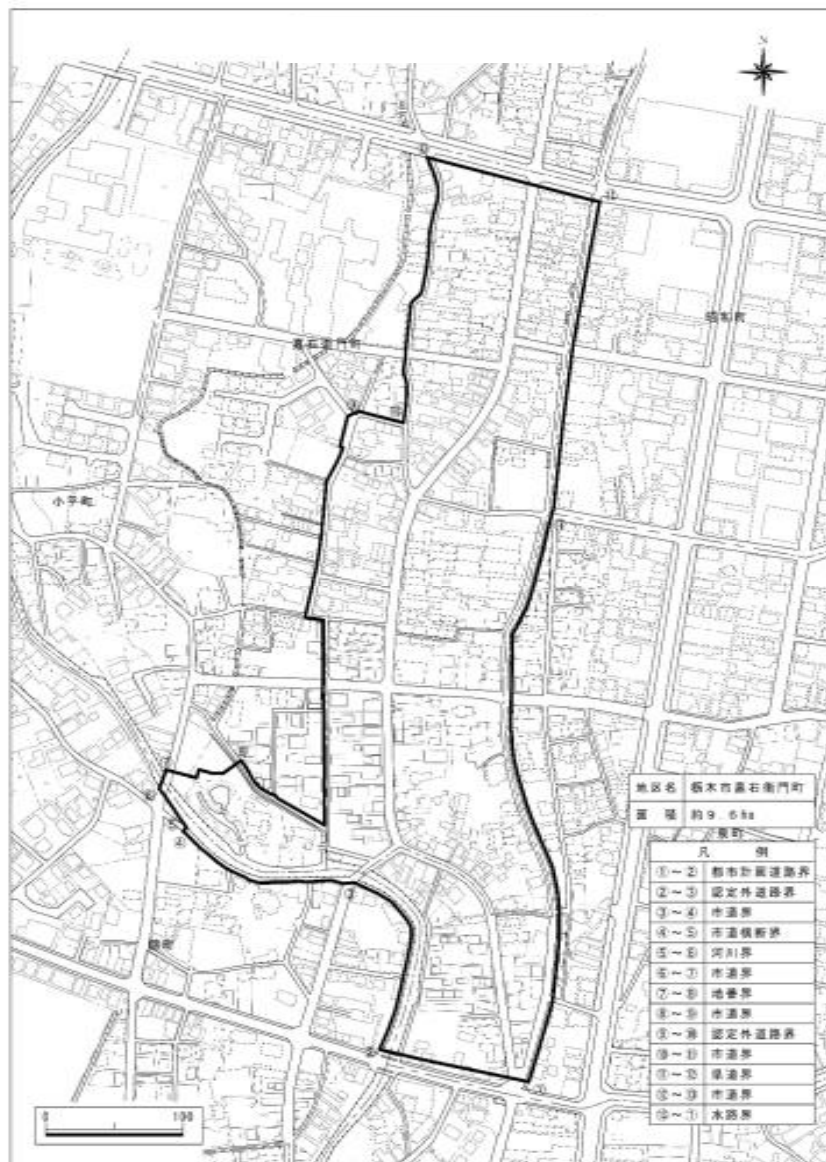
○栃木市歴史的町並み景観形成地区と歴史的建造物の位置



評価軸②-5

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
重要伝統的建造物群保存地区との連携			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区(伝建地区)は、保存計画に基づいた文化財としての伝統的建造物群の保存を進めながら、伝建地区周辺環境の保全・整備を一体的に行い、歴史的資源を活かしたまちづくりを推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝建地区内における現状変更行為等について、事前相談・協議を行い、現状変更行為の許可事務を行った。 また、修理修景事業への補助を実施することで、伝建地区の歴史的風致の維持向上を図った。 令和5年度:許可件数 9件、修理件数 4件、修景件数 0件 (令和4年度:許可件数 3件、修理件数 5件、修景件数 0件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区 9.6㊱

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
歴史的風致形成建造物修理・修景事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成31年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	栃木市の歴史的風致を形成する歴史的な建造物のうち、重点地区における歴史的風致の維持向上のために必要かつ重要と認められる建造物を歴史的風致形成建造物として指定する。また、歴史的風致形成建造物に指定した建造物の外観の保全に係る修理・修景に対して補助する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物 令和5年度:指定件数 0件(R元年～R5年指定件数 27件 うち市所有 20件、民間所有 7件) 令和5年度:補助金交付件数 0件(令和4年度:補助金交付件数 0件) 令和5年度:修理工事 3件(令和4年度:修理工事 5件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

・横山郷土館



・旧金澤呉服店

修理箇所



施工前

施工後

・パーラートチギ(旧関根邸)



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
嘉右衛門町伝建地区拠点施設整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～令和10年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金		
計画に記載している内容	味噌工場跡地の敷地内に数多く残る伝統的建造物の保存に努めるとともに、周辺の歴史的建造物と一体となった町並みの整備や人と文化の交流を目的とした活用を目指し、観光・まちづくり・防災の拠点施設として整備する。(伝統的建造物の修理・景観阻害建築物の撤去解体・煙突や窯の整備・中庭の整備等)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
味噌工場跡地の敷地内の伝統的建造物以外の危険建築物の解体工事を行うとともに、敷地内に残る伝統的建造物について、修理を行うまでの応急的な処置として、安全対策工事を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
危険建築物解体工事 【工事前】  【工事後】 			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
伝統的建造物公開活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成31年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区の歴史的な価値について理解を深めるため、当地区で最も古い(天保5年、1835年)見世蔵、土蔵群(伝統的建造物)及び土地の取得を目指し、活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市が借り上げている「大貫邸」において、伝統的建造物の活用事例の一つとして、民間団体主体による、各種イベントが開催された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

○おやこウォークラリー(栃木地区子ども育成会連絡協議会による活用)
令和5年11月3日(金・祝)



○蔵の街アート展示会(蔵の街を活かしたまちづくり研究会)
令和6年2月3日(土)～2月18日(日)



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
嘉右衛門町伝建地区修理等事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～令和10年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金		
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区保存計画で特定されている伝統的建造物の修理及び伝統的建造物以外の建築物等の修景を実施する所有者に対し、修理・修景に係る経費の補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統的建造物の修理工事にに対し補助金交付を行った。 令和5年度:補助金交付 4件(令和4年度:補助金交付 5件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

【岡田家土蔵(建一嘉20)】



R9完了予定

【小池家土蔵(建一嘉54)】



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
伝統的技術継承事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成25年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的町並みの保全・活用に必要な歴史的建造物の伝統的技術の継承事業を促進する団体等の支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的技術の継承事業の促進のため、建造物の修理技術の研鑽と担い手育成及び歴史的伝統建築の修理や町並み保存に対する啓発活動を進めている「特定非営利活動法人とちぎ蔵の街職人塾」において、先進地における歴史的建造物の修理等を見学する修理工事研修会を実施した。
また、同団体と市職員による勉強会(蔵まちPP未来志向フォーラム)を5回開催した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

ONPO法人とちぎ蔵の街職人塾と市職員による勉強会(蔵まちPP未来志向フォーラム)の開催

回数	開催日	主なテーマ
第2回	令和5年5月12日(金)	栃木市の建築物等に関する補助金について
第3回	令和5年7月14日(金)	工事見積書の見方
第4回	令和5年9月25日(月)	これまでの歴史的な建造物の修理・利活用について
第5回	令和5年11月22日(水)	歴史的建造物を利用したまちづくり成功のカギ(会津若松市七日町での研修を通じて)
第6回	令和6年2月20日(水)	応急処置的な施工方法や修理のグレードについて



第3回 工事見積書の見方



第4回 これまでの歴史的な建造物の修理・利活用について



第5回 歴史的建造物を利用したまちづくり成功のカギ(会津若松市七日町での研修を通じて)



第6回 応急処置的な施工方法とグレードについて

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
嘉右衛門町伝建地区防災施設等整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和4年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区防災計画に基づき、保存地区内に無線連動式住宅用火災警報器を設置し、火災を早期発見するシステムを導入する所有者に対し、設置に係る経費の補助を行う。また、火災に対し初期消火を行える環境を整えるため、保存地区内に住民でも使用可能な消火設備等を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地区内における無線連動式住宅用火災警報器導入の必要性等に関する普及啓発活動として、消防署・消防本部職員を講師として招いた防火講話(でんけん交流会)を開催した。 文化財防火デーに合わせて開催した「伝建地区総合防災訓練」において、地域住民とともに、可搬ポンプ及び水消火器による初期消火訓練や通報訓練等を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

○第11回でんけん交流会での防火講話
令和5年12月11日(月)



○伝建地区総合防災訓練における初期消火訓練
令和6年1月28日(日)



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
村檜神社修理整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重要文化財村檜神社本殿等の建造物の修理や修景、また村檜神社境内の参道や記念物(動物・植物・地質鉱物)社叢の修景や整備を行うとともに、防火、防犯、防災設備や解説板等の設置を行うことにより周辺環境の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国重要文化財(建造物)となっている本殿について、国土館大学理工学部の協力により、耐震予備診断による耐震性能評価を行い、耐震対策案を作成した。また、修理履歴や周辺環境との関わり等について、神社所蔵資料の調査により確認調査を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



重要文化財村檜神社本殿

2023/4/29
国土館大学・横内

村檜神社の調査研究計画

1. 目的・ねらい
 - ・本殿の耐震性能を把握し、今後の地震対策を考える資料を得る。
 - ・村檜神社の耐震性能の明示と地震対策の提案
 - ・現存する村檜神社に関する史資料を出来る限り収集し、神社(特に本殿)記録と実態を整理する。
 - ・史資料の収集、目録作成
 - ・境内配置の変遷、本殿の修理・改造の履歴、周辺環境とのかかわりなどを、その背景と合わせて整理・考察
2. 方法
 - 2.1 史資料の調査・デジタルデータ保存(4～5月)
 - ・神社所蔵の史資料 → 寺内宮司様にご相談(家伝記、修理報告書、古文書、古写真等)
 - ・境内記録 → 現地調査
 - ・古文書 → 栃木県文書館
 - ・町村史類 → 国史館書庫
 - ・図面、古写真等 → 国史館書庫、奈良文化財研究所等
 - 2.2 現地調査(5～8月)
 - ・本殿寸法実測調査(建造物形状、部材断面、接合部の位置・形状)
 - ・本殿現況調査(劣化状況、修理・改造痕跡、不陸・立ち・おにれなどの確認)
 - ・全社的小屋裏調査(小屋裏の状態、棟札等の確認)
 - ・古文書等の情報の裏取り
 - ・振動測定(常時微動測定) (2023/5/25)
 - 2.3 調査の分析・整理(5～12月)
 - ・収集史資料の目録作成
 - ・古文書の解説
 - ・境内や社殿にかかわる年表整理
 - ・実態、背景の考察
 - 2.4 耐震安全性の検証(8～2月)
 - ・重要文化財(建造物)耐震予備診断による耐震性能評価
 - ・重要文化財(建造物)耐震基礎診断による耐震性能評価
 - ・3次元フレームモデルによる時刻歴応答解析
 - ・常時微動測定による振動性状(固有周期、減衰定数、振動モード)の分析

村檜神社調査研究計画書
(国土館大学より提供)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
----	--------	----------------

景観重要建造物保全事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
-------------	--	---

事業期間	平成28年度～令和10年度
------	---------------

支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
-------	------------------------

計画に記載している内容	景観的に価値のある建造物を景観重要建造物として指定する。また、景観重要建造物に指定した建造物の保全に係る経費の一部について補助する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「栃木市景観重要建造物等保全補助金交付要綱」を活用し、景観重要建造物の保全に係る経費の一部について補助を行うことで、建造物の維持管理が適正に行われることにより、良好な景観が保全され、商家町栃木にみる歴史的風致の維持向上に寄与する。

令和5年度:補助金交付 1件 塚田歴史伝説館旧文庫(令和4年度:補助金交付 0件)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後、景観重要建造物の新たな指定に向け、調査検討を進める。
--	-------------------------------

状況を示す写真や資料等

景観重要建造物保全事業予定表

○塚田歴史伝説館

●＝保全事業実施予定

令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
旧荷蔵補助金500万円				旧文庫蔵補助金500万円		●		●	



景観重要建造物である塚田歴史伝説館 施工前



施工後

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
歴史的町並みに関する修景補助事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成2年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	歴史的町並み景観形成地区において、景観形成補助金制度を拡充し、歴史的建造物の外観の修景整備を行うとともに、町並みの連続性を阻害している建物等の外観について、歴史的町並みに調和するよう修景を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「栃木市歴史的町並み景観形成補助金交付要綱」を活用し、歴史的建造物等の修景に対して、費用の一部を補助することで、栃木らしい歴史的町並みの景観形成に寄与する。 令和5年度:補助金交付 0件(令和4年度:補助金交付 2件)			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後、町並みの連続性を阻害している建物等の外観について、修景整備が進むよう景観形成補助制度の拡充を検討する。		
状況を示す写真や資料等			
○「栃木市歴史的町並み景観形成補助金交付要綱」を活用した修景整備 令和5年度:補助金交付 0件 令和6年度以降の修景についての相談を受けた。			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
景観形成重点地区指定に関する調査事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成31年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的町並み景観形成地区において、歴史的町並みの更なる充実を図り、景観まちづくりを推進するため、本地区を基本に栃木市景観条例に基づく景観形成重点地区の指定に向けた調査(景観の特徴等)を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成2年に指定した栃木市歴史的町並み景観形成地区の区域を、栃木市景観計画に基づく栃木地域歴史的町並み景観形成重点地区として指定するため、令和元年度に地元説明会等を行うなど地元調整を進めてきたところであるが、令和元年東日本台風での被災や新型コロナウイルス感染症対策により、重点地区指定に向けた地元調整が中断していた。

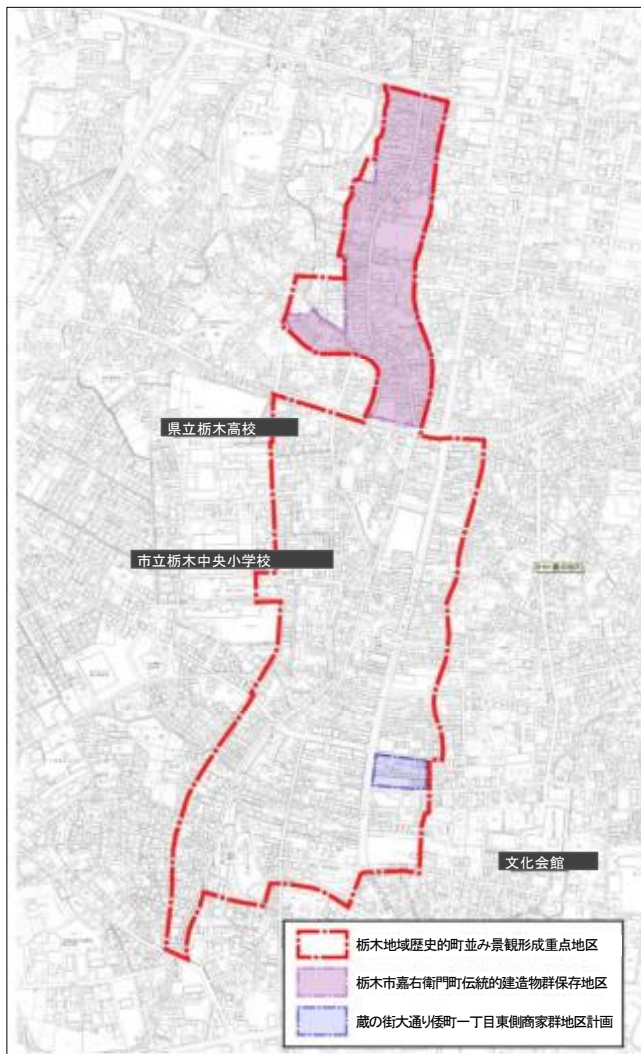
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐計画どおり進捗している
☒計画どおり進捗していない

地元調整を再開するなど、重点地区指定に向けた景観形成の方針の検討を進める。

状況を示す写真や資料等



栃木地域歴史的町並み景観形成重点地区 区域(案)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
無電柱化事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和4年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域において、歴史的な町並みに調和した空間の整備を図るため、無電柱化を実施し、景観形成の充実を図る。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
県・市町及び電線管理者で組織する栃木県無電柱化推進協議会のワーキンググループにおいて、無電柱化予定箇所とし調査・研究を行っている。 庁内関係課（蔵の街課・道路河川整備課）から電線管理者に類似事例などの情報提供を依頼し、今後の方向性について検討を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		電線管理者と協議したところ、道路幅が狭く、歩道もないことから、一般的な地中化の手法では整備が困難な路線であるが、ソフト地中化等が事例もあることから、関係部署と協議し、実現に向けた検討を進める。	
状況を示す写真や資料等			

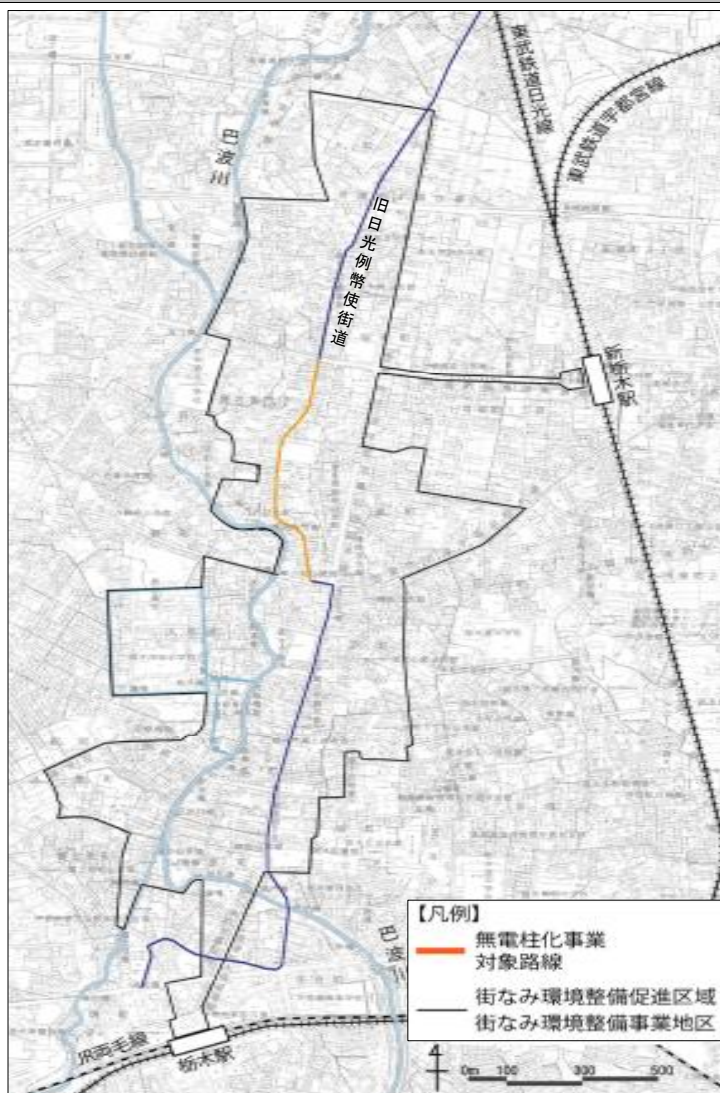


図 無電柱化事業対象路線

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
祭礼・民俗芸能等の記録保存事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成31年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内の無形民俗文化財に指定されている祭礼や民俗芸能等について、調査し記録を作成するとともに、作成した記録を保存する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
新型コロナウイルス感染症対策による団体の活動休止・縮小等の影響もあり、全体の予備調査等は進んでいないが、令和5年度から徐々に復活してきた団体の活動状況について確認調査を進めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



令和5年8月6日(日) 百八灯流し



令和5年10月17日(火) 村檜神社 秋の例祭



令和5年4月16日(日) 大神神社 春の例大祭



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
市指定無形民俗文化財保存事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成31年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市指定無形民俗文化財の保存や伝承活動の促進のために、保存団体等に対し、伝承活動に要する経費や保存に必要な専門用具、楽器、衣装等の修理又は新調に要する経費の補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木市指定無形民俗文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、市指定無形民俗文化財保持団体に対し、伝承活動に要する経費の一部を支援した。(7団体)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

○栃木市指定無形民俗文化財伝承補助金

交付先

- ・下野国庁跡・地区文化財整備委員会
- ・宮野辺神社
- ・大宮神社獅子舞保存会
- ・新神田囃子保存会
- ・木獅子舞保存会
- ・升塚獅子舞保存会
- ・鷲宮太々神楽保存会



新神田囃子保存会



木獅子舞保存会



升塚獅子舞保存会



鷲宮太々神楽保存会

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
山車等の保存・修理補助事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成31年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	栃木の山車祭りの山車等の保存や伝承活動の促進のために、保存会等に対し、保存会の運営に要する経費や山車の修理に係る経費の補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木市文化活動推進補助金交付要綱に基づき、保存会の運営に要する経費の一部を補助した。(1団体) また、栃木市指定有形民俗文化財修理費補助金交付要綱に基づき、山車修繕に要する経費の一部を1団体に補助するとともに、県指定である山車修繕に関する指導及び支援業務を行った。			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○栃木市文化財山車保存会補助金 交付先 ・文化財山車保存会 ○栃木市指定有形民俗文化財修理費等補助金 交付先 ・嘉右衛門町自治会(嘉右衛門町の山車:仁徳天皇)			
			
文化財保護審議委員による現地指導		修理を要する車輪	

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
		現在の状況
渡良瀬遊水地環境保全事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成31年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 渡良瀬遊水地の環境保全として、渡良瀬遊水地の現状を把握するための生態系調査や希少植物保全のための外来植物除去活動、絶滅危惧種を復活させるための環境学習池の管理を行う。また、ヨシ原保全のためクリーン作戦やヨシ焼きを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年5月13日に絶滅危惧種生息地で外来植物の除去作業及び植物観察会を実施(参加者150人、セイカアワダチソウ約0.9t除草)。6月28日に絶滅危惧種ノジトラノオの生息地の保全作業を実施。令和6年2月26日にヨシ焼き前クリーン作戦を実施(参加者77人)。3月3日に渡良瀬遊水地全域でヨシ焼きを実施(見学者2,200人)。※渡良瀬遊水地クリーン作戦及び湿地再生池(第2調節池)の外来植物除去作業は中止となった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒ 計画どおり進捗している
☐ 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



環境学習池

外来植物除去活動の様子
(令和5年5月13日)植物観察会の様子
(令和5年5月13日)ノジトラノオ保全作業の様子
(令和5年6月28日)

ヨシ焼き前クリーン作戦の様子

ヨシ焼きの様子
(令和6年3月3日)

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
農業体験(農業ワーキングホリデー)事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成31年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	ぶどうを一般消費者にアピールし、地域農業の振興に寄与するよう、ぶどう収穫等の体験学習を行う。また、ぶどう農家に農作業を手伝いたいなど、ぶどう栽培に関心があり勉強をしたい人を紹介して、ぶどう農家の人手不足を解消していくサービスを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大平ぶどう団地を一般消費者へアピールするため、ぶどうの袋掛け体験(7月:参加者22名)、ぶどう及びワイン用ぶどう収穫体験(9月:参加者44名)、企業との連携による農業収穫体験学習(3月:参加者30名)を実施した。新型コロナウイルス感染症対策以前に実施していたぶどうまつりの開催、ぶどう狩りキャンペーン等は引き続き開催見合わせとなった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	農業体験については受け入れできる農家や組織の確保が課題である。また、新規就農希望者の土地や施設等の経営基盤整備にも課題があるため、今後の取組みについて地元農家の意見を伺いながら引き続き支援方法を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			



ワイン用ぶどう収穫体験の様子

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
6次産業化推進事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	ぶどうを主力とする果樹生産の振興を図るとともに、大平ぶどう団地では、来訪者の志向や栽培動向に対応した、ワインやジュース、ジャム等の加工・販売・新商品開発等の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
現在、地域で生産しているぶどうを始めとする果実等を使用し、ジュース、ジャム、ワイン等の加工品を各団体が中心に製造・販売を行っている。新型コロナウイルス感染症対策により積極的なPR活動はできなかったが、今年度はイベントへの参加等を通じてPR活動を行った。NPO団体においては、下都賀地域食材提案会に出展しPRを図った。販路拡大につながることを期待するとともに、県等の関係者と情報を共有しながら、他産業との連携や情報発信等の支援にも努めていく。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		新商品開発を行う事業者の掘り起こし及び6次産業に関する情報発信の方法を検討し、今後も、県が設置する栃木6次産業化サポートセンター等の関係組織と密な連携が必要である。	
状況を示す写真や資料等			

○現在生産されている加工品の例



ワイン



手作りジャム・ぶどうジュース



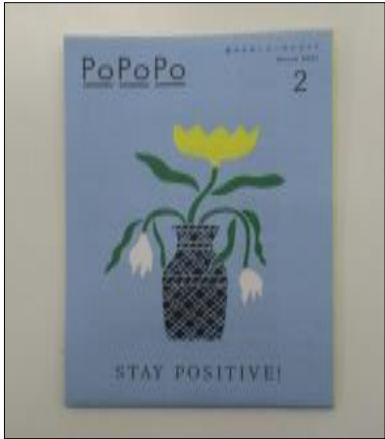
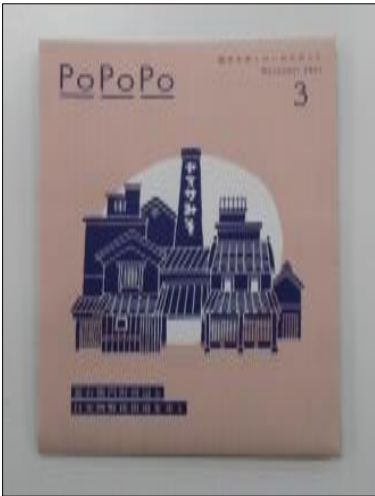
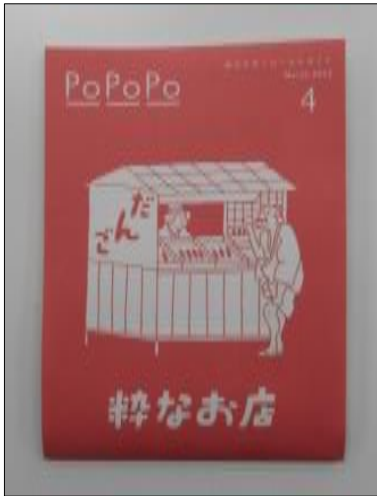
第2回下都賀地域食材提案会

○イベント参加実績

4月	桜まつり
7月	日産横浜フェア
8月	みつわキッチンカー通りイベント
9月	かかしとマルシェイベント
11月	第2回下都賀地域食材提案会

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
情報発信事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成31年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区の歴史的な価値や、伝建地区や伝統的建造物等を楽しめる魅力や情報を発信するなど、様々な情報発信ツールを活用したPRを展開する。栃木市の認知度を高め、魅力を知ってもらうため、メディアや交通事業者、旅行者等へ、時期にあった情報発信を行い、栃木市への誘客に努める。また、栃木市を訪れる外国人観光客の誘客推進を図るため、商談会や県主催の海外プロモーションイベントに参加し、積極的な誘客活動を展開する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年4月にオープンした栃木市観光交流館「蔵なび」や、令和3年7月にオープンした嘉右衛門町伝建地区拠点施設ガイダンスセンター等において、パンフレット配布等により嘉右衛門町伝建地区の紹介や観光案内等を行った。 また、NPO法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会において、栃木を歩くローカルガイドPoPoPoの発行、ホームページ「kaemos」、Instagram、facebook等のツールを活用した情報発信を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○栃木を歩くローカルガイド PoPoPo			
   			

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和5年度	
項目	現在の状況
文化財データベース整備・発信事業	
☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	国県市指定の文化財の修理履歴や現状を総合的に把握するため、資料情報をデジタル化した管理データベースを構築する。データベースのうち、各々の文化財の歴史的価値や意義について、インターネット上で公開し、活用を行う。また、公開端末は主要な資料館に設置し、市全域の歴史や文化、歴史的風致のガイダンスを行う。
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で	
栃木市立美術館・文学館収蔵品管理システムのデータベース登録作業を進めてきたが、組織の変更に伴い新たに導入内容を検討する必要がある。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
☐計画どおり進捗している ☒計画どおり進捗していない	栃木県文化資源デジタル化事業が開始され、参加している。国県指定文化財等の公開活用の方法等について再検討する。
状況を示す写真や資料等	



資料データベース管理画面

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
文化財マップ作成事業			☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手
事業期間	令和5年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	国県市指定の文化財マップを作成し、主要施設に配付することで、市全域の歴史や文化、歴史的風致の情報発信を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	き損により経過観察中のもの、所有者が非公開を希望しているもの等あり、掲載範囲について各所有者と調整しつつ検討する必要があるため事業期間を延長して実施する。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
案内板等整備事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成31年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	嘉右衛門町伝建地区の説明や、伝建地区及びその周辺地域の防災施設等の施設に関する適切で分かりやすい情報の提供を行う地図、また、災害時に情報伝達・共有をするための掲示板(でんけん伝言板)を設置する。また、伝建地区の南隅と北隅に位置サインを設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
嘉右衛門町伝建地区拠点施設前に、案内板(でんけん伝言板)を設置した。また、伝建地区の南隅と北隅の位置サインについては、既存の位置サインを活用することとした。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

○案内板(でんけん伝言板)



○伝建地区の南隅と北隅の位置サイン



位置サイン(南隅)



位置サイン(北隅)

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
歴史・文化に関する解説ボランティア人材育成事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成31年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市民や来訪者向けに、地域に残る歴史的資源や歴史・文化について語ることができる解説ボランティアを育成するため、講習会や現地視察等の歴史文化資産に関する解説ボランティア養成講座を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
観光ボランティア協会が、協会会員を対象とした班別研修会・全体研修会を開催したほか、栃木県郷土ボランティアの集いに参加した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	他部局、県、大学、民間事業者、近隣自治体の観光ボランティア等との連携について体制、システムづくりを検討する。		
状況を示す写真や資料等			
令和5年度栃木市観光ボランティア協会先進地視察研修(第1回) 令和5年5月25日(木)8時30分～17時 (日立オリジンパーク・大甕神社・大洗磯前神社)			
第28回栃木県郷土ボランティアの集い 令和5年11月1日(水)9時50分～15時45分 (那須塩原市塩原公民館)			
令和5年度栃木市観光ボランティア協会先進地視察研修(第2回) 令和5年12月1日(金)8時30分～16時30分(旧渋沢邸・渋沢栄一記念館・忍城址公園・行田市郷土博物館)			
			
令和5年度栃木市観光ボランティア協会先進地視察研修(第1回)		第28回栃木県郷土ボランティアの集い	
		令和5年度栃木市観光ボランティア協会先進地視察研修(第2回)	

評価軸③-23

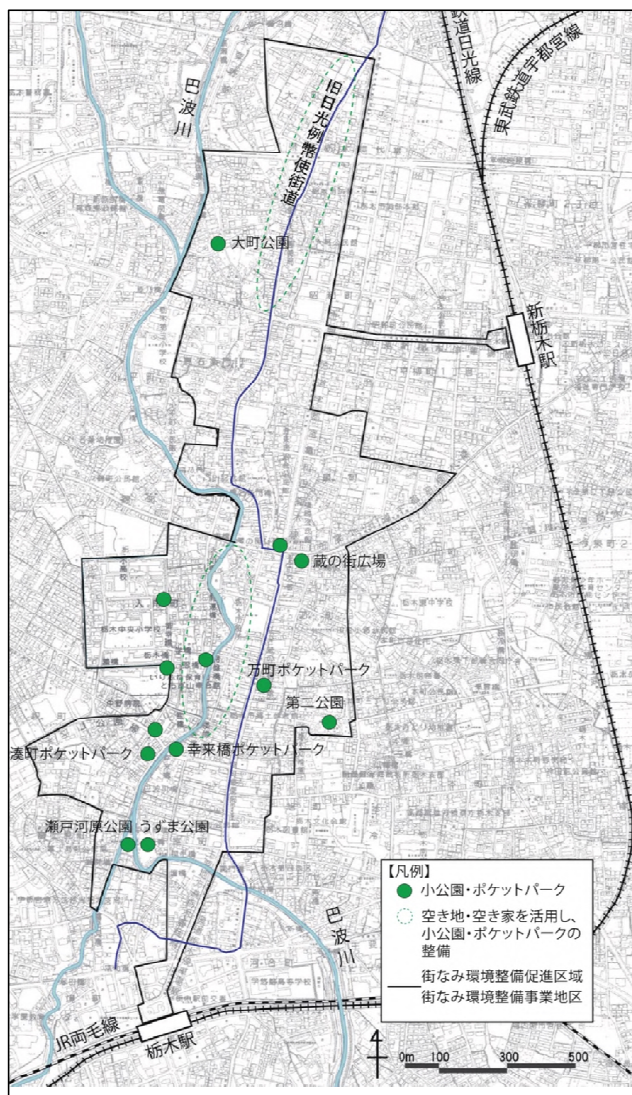
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
嘉右衛門町伝建地区及び周辺整備事業			☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手
事業期間	令和4年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的な町並みに調和した空間の整備を図るため、歩道の整備や道路の美装化、街路灯の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	無電柱化事業と合わせて検討する。 なお、無電柱化事業においては、当該地区は既に歴史的な町並みが形成されている地域であり、同様な条件での事例が少なく整備手法の慎重な検討を引き続き行っていく。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
ポケットパーク整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的な町並み景観の阻害要素となっている空き家や空き地を活用し、地域住民・来訪者が憩えるポケットパーク（歴史的風致に関する説明板・防災倉庫・防災水槽・トイレ）を整備する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☐計画どおり進捗している ☒計画どおり進捗していない		ポケットパーク整備については、候補地の場所や広さ等の様々な状況を加味しながら、その場所に相応しい整備を進める。	
状況を示す写真や資料等			



既存ポケットパークの位置と整備予定区域

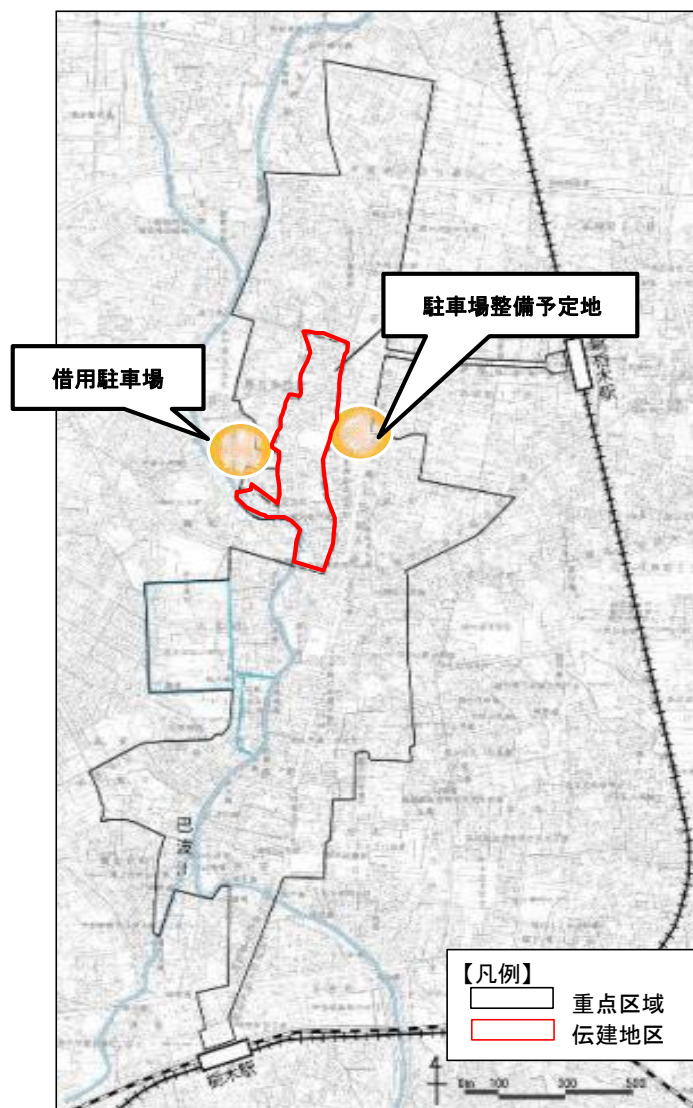
評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
駐車場整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域(旧日光例幣使街道及び巴波川周辺区域)における嘉右衛門町伝建地区等へのアクセス環境を向上させるため、駐車場を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
嘉右衛門町伝建地区味噌工場跡地保存活用計画において、拠点施設の隣接地での整備を位置付けている。令和5年9月より、地区に隣接した民間駐車場を借り受け、地区における駐車場を確保した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	拠点施設整備事業の進捗に合わせて検討する必要がある。		

状況を示す写真や資料等

【借用駐車場】



評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
旧日光例幣使街道交通体系検討調査事業			☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	有識者と地元住民を交えて現状の交通課題と風致を考察し、より良い交通体系を検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	無電柱化事業や嘉右衛門町伝建地区及び周辺整備事業と合わせ検討する。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
歴史文化資産ネットワーク形成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成31年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内各所の歴史文化資産について、地域に根差した物語づくりを行いながら、新たなモデルコースを設定するとともに、来訪者が複数の歴史文化資産を周遊できるよう広域的な自転車道路網を活用するため、レンタサイクルシステムの導入を検討する。各々の歴史文化資産への来訪者に、そこだけに留まらずに周遊してもらうため、着地情報(交通手段、施設情報等)の共有や、歴史文化資産間のネットワークを強化する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木市観光資源データベース「蔵ナビ！」に、モデルルートとして、「歴史ロマン 花めぐりコース」を作成するとともに、ふれあいバスやサイクリングマップ(サイクリングコース)等の二次交通情報を掲載し、歴史文化資産に触れ合いながら、各地域を周遊してもらうための情報発信を行った。また、令和5年7月からシェアサイクルの導入を実施した。			
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



栃木市観光資源データベース「蔵ナビ！」



シェアサイクルのステーション設置場



シェアサイクルのステーション

評価軸③-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
公共サイン整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内の文化財や史跡等に誘導するサイン等について、案内機能の向上を図るために、表記方法や意匠の統一化、多言語化など、平成27年(2015)に策定した栃木市公共サインガイドラインに基づき整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度:実施件数 0件(令和4年度:実施件数 2件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	必要に応じ、随時対応する。 令和6年度は、大平地域の伯仲第一号古墳の案内看板、説明看板を設置する。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
歴史的観光資源高質化支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成31年度～令和10年度		
支援事業名	歴史的観光資源高質化支援事業		
計画に記載している内容	外国人観光客が増加傾向にある歴史的町並み景観形成地区において、歴史的な町並みの景観を阻害している建築物の外観を保全することにより、歴史的建造物を含めた町並みの質を向上させ、外国人観光客の満足度向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
嘉右衛門町伝建地区拠点施設内において、危険建築物の解体工事として、歴史的な町並みを阻害するRC造の建築物(2棟)を除却した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

○伝建地区拠点施設解体工事

【除却前】



【除却後】



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目			現在の状況
文化財の調査、指定、保存管理について			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	関係法令に基づく適切な保存管理を実施し、保存活用計画の策定や、関係機関と連携した調査・研究、市指定や国登録制度等の活用等により適切な保護を行う。 土木工事等の際の届出義務の徹底や関係機関と連携した保存・記録・調査を行う。 文化財の保存活用の視点から観光部局との連携強化体制の充実を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市文化財保護審議会委員に対し文化財調査(有形民俗文化財1回)を依頼、また、未指定文化財(建造物2件)についての調査及び意見聴取(各1回)を行った。 埋蔵文化財調査を実施した。(確認調査20回、立会調査45回)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		指定の根拠となる、現存する証拠の収集において、事務局と審議委員だけでは確認や閲覧が困難な場合があることから、引き続き研究機関との連携体制を整えていく必要がある。	

状況を示す写真や資料等

○文化財調査



人形山車調査(令和5年7月18日)
県指定有形民俗文化財(万町三丁目の山車)

○埋蔵文化財調査



細沼遺跡・富田城址確認調査
(令和5年6月12日～6月28日)



天神遺跡・塚原遺跡確認調査
(令和5年7月13日～8月4日)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財の修理、周辺環境整備、防災に関する事業について			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の価値を損なうことなく修理するため関係機関と調整し、各種補助制度を活用しながら、適切な保存のための対策を講じる。 展示施設等の見直しを行い、将来的に資料を一元管理できる施設整備を目指す。 関係法令に基づき周辺環境と調和した良好な景観の保全に努める。 防災対策の検討とともに、復旧作業に資する資料や関係機関との体制の整備を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国重要文化財を展示しているおおひら歴史民俗資料館の空調修繕を行い、文化財保存のための環境整備を行った。 また、市史跡である星野遺跡地層たんけん館の環境改善業務を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○環境整備

- ・おおひら歴史民俗資料館空調修繕工事
(国指定文化財 下野七廻り鏡塚古墳出土遺物展示)



- ・星野遺跡地層たんけん館環境改善業務



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発、防災訓練、団体支援について			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容	文化財防火デーを活用した防災訓練等の取組みを促す。 説明板等の設置やパンフレットなどの作成・配布、講座やイベントを開催し、普及・啓発を図る。 総合的な調査研究を行うとともに、保存・活用する団体等の育成、団体間の連携強化を図る。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・文化財防火デー(1月26日)にあわせて、文化財(建造物)の所有者または管理者への文化財防火デー実施要項及びポスターの配布や消防署による文化財(建造物)の防火点検、伝健地区周辺での消防訓練の実施などを行った。
 ・とちぎ文化講座を開催し、本市の歴史文化等について普及・啓発を行った。(全6回のべ参加者数308名)
 ・小学校6年生向けに栃木市の歴史をわかりやすく紹介したデジタルブックを作成した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



伝健地区総合防災訓練

とちぎ文化講座開催状況

講座名	日程	参加者数(人)
古墳に親しむ～吾妻古墳の発見～	9月7日	55
埴輪の発見～とちぎの埴輪～	9月28日	56
下野国庁跡	10月5日	43
名城皆川城の秘密	10月17日	51
徳川斉昭と例幣使街道	11月2日	51
蔵の街とちぎの成り立ち	11月16日	52
合計		308



講座の様子(第1回)

デジタルブック作成業務



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	令和5年度
年月日		掲載紙等	
作業場改装 ビール醸造 栃木の油伝味噌	2023年5月25日	下野新聞	
グッドデザイン賞受賞 栃木市文学館 美術館「町の歴史可視化」と評価	2023年10月17日	下野新聞	
巴波川 水面ほのかに 竹あかり	2023年11月3日	下野新聞	
わが町の変遷 栃木蔵の街 景観整備も維持に苦心	2023年11月2日	下野新聞	
大盛り卵「全て食べよ」 栃木 鷺宮神社で「強卵式」	2023年11月24日	下野新聞	
栃木三小児童が体験 子ども例幣使街道に行く	2023年11月23日	下野新聞	
文化財を火災から守れ 重伝地区など住民50人が参加	2024年2月1日	下野新聞	
ebi artstudios”君死にたまふことなかれ”展示会18日	2024年2月6日	ケーブルテレビ	
趣ある見世蔵でデジタルアート ebiさん、市内初個展	2024年2月8日	下野新聞	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栃木の歴史的風致に関する内容が多数新聞報道された。これらの報道を通して、歴史的風致の維持向上に関する認識が高まることが期待される。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

評価軸⑥-1

その他(効果等)

評価対象年度

令和5年度

項目

観光客入込数の推移

計画に記載
している内容

歴史や伝統が広く市民に再認識され、郷土に対する誇りと愛着が生まれることにより、祭礼行事など、地域行事への積極的な参加につながり、地域の伝統文化が次世代へ大切に受け継がれていく。また、栃木市固有の魅力が向上することにより、観光振興等を目的とした交流人口の増加へとつながり、地域活性化が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

市民協働によるおもてなしの推進や、観光資源の磨き上げなどにより、リピーターや新たな観光客の獲得に繋がったことで、観光客入込数は、平成28年に初めて6,000千人を超え、その後も横ばい傾向にあったが、令和元年東日本台風による被災、令和2年頃から感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響などにより、観光客が激減した。新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着きを見せ始めた令和4年には「とちぎ秋まつり」等のイベントも再開し、回復傾向にある。令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響前の水準まで回復しつつある。

進捗状況 ※計画年次との対応

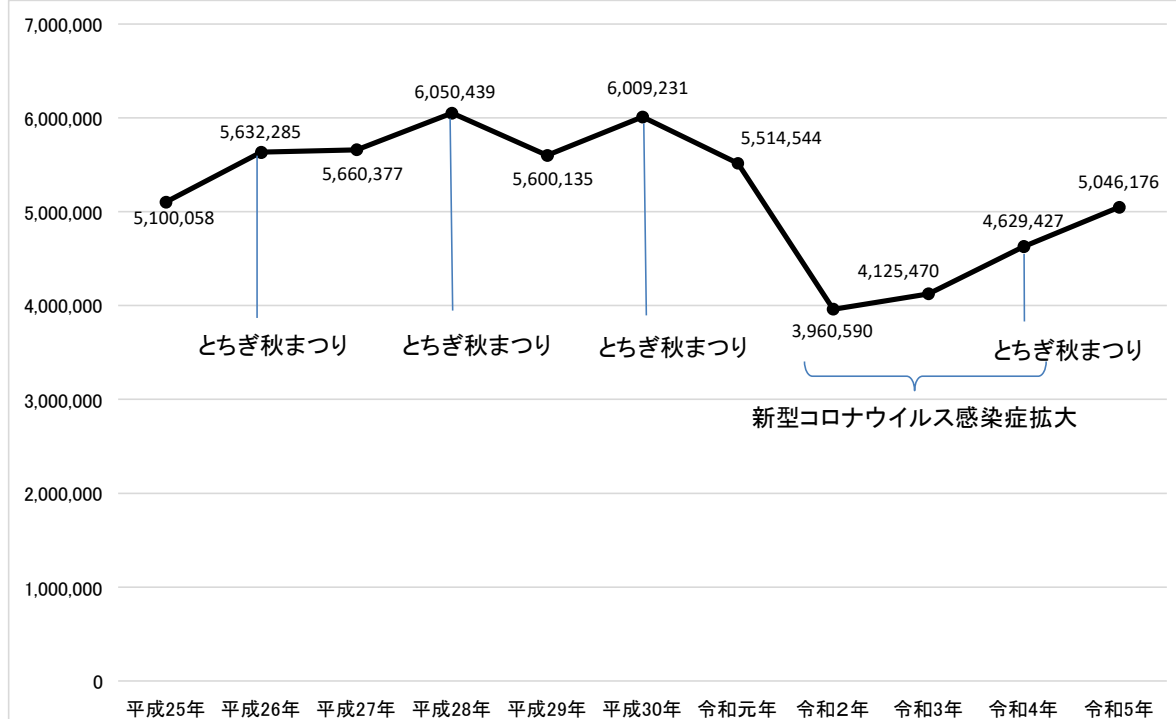
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

(人)



栃木市観光客入込数の推移

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和5年度第1回栃木市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和6年3月13日(水)	
①組織体制 【歴史的風致維持向上計画の実施体制】 ・他市では法定協議会の中に市長が出席したり副市長が委員として意見を言ったりしている市もある。歴史まちづくりは市全体としてやっていることであることを周知するためにも、本協議会に市長や副市長が出席し、歴史まちづくりを重視する行政があつてしかるべきであり、現在の推進体制では不十分ではないかと思う。 ②重点区域における良好な景観を形成する施策 【都市計画法との連携】 ・長年の検討にも拘わらず、栃木市中心市街地の伝建地区指定は実現していない。どのような課題があるか検討し、課題と見通しを明らかにし、実現を図るべきである。 ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 【伝統的技術継承事業】 ・NPO法人とちぎ蔵の街職人塾は大変良い団体だと思う。他市でもこういった団体と市との勉強会等を行っているため、引き続き進めて欲しい。 【景観重要建造物保全事業】 ・景観重要建造物の指定については是非進めていただきたい。 ・歴史的風致形成建造物や歴史的建造物、景観形成重要建造物等、制度がたくさんありわかりにくい。もう少し分かりやすく統合する等できないか。 【無電柱化事業】 ・景観形成のための無電柱化は必要である。促進していただきたい。 【祭礼・民俗芸能等の記録保存事業】 ・祭礼・民俗芸能や市指定無形民俗文化財については記録保存を促進していただきたい。 【山車等の保存・修理補助事業】 ・山車については修理の方針について丁寧な議論と方針の一致が必要であるため、各担当者と話し合いの上進めていただきたい。 【文化財マップ作成事業】 ・文化財マップについては掲載の範囲の調整は困難を伴うが、マップの一日も早い完成を期待する。 ④文化財の保存又は活用に関する事項 【文化財の調査、指定、保存管理について】 ・必要に応じて各方面の専門家の意見を積極的に取り入れる必要がある。 ⑤その他 ・推進している事業について市民に伝える機会を増やした方が良い。 (今後の対応方針) 本市の歴史的風致の維持向上を図るため、各慣例法令、条例等に基づき、整合性を図りつつ事業を進めてまいります。 また、各事業については、実態や課題に応じた取り組みの推進を行い、栃木市の歴史的風致の維持向上に努めてまいります。	